

# こすど地区公民館報

発行 小須戸地区公民館  
〒956-0101  
新潟県新潟市秋葉区小須戸117番地  
TEL (0250) 38-2234  
FAX (0250) 38-3041  
編集 公民館報編集委員会

祝「こすど地区公民館報」通算700号記念号

## 新たな船出に期待して ～平成25年度の主な事業紹介～



新潟市小須戸地区公民館長  
大宮 正和

### 【プロフィール】

- ・生まれ——北区(豊栄) 上大月(現住所同じ)
- ・血液型——A型
- ・性格——真面目(?)
- ・趣味——ゴルフ、海釣り、読書
- ・好きな言葉——初心忘れず

東條前公民館長に変わり、四月から館長を務めることになりました。よろしくお願いたします。

平成二十二年九月に「地域とともに」一緒に考え、学びあい、学びの成果を生かして、地域の絆づくりを支援します」との新潟市公民館改革宣言を

行つてから今年、四年目になります。

### 新年度公民館運営方針

- 地域主体のコミュニティづくりと地域を支える人材育成・団体育成
- 家庭教育の支援
- 青少年の健全育成
- 学・社・民の融合による地域教育力の向上
- 生涯学習社会の実現を目指した地域づくり



公民館活動の影に住民パワーあり

### 「白鳥の友情に感動」

三月十四日夕方の五時半頃、畑に休みしていました。白鳥の群が声をかけあいながら、竿になり、カギになり、二十羽ぐらいい、加茂の方から飛んできました。すると、みはり役と思わ

加藤 ミツ さん  
(横川浜)

「加藤さんは、一昨年も同じような光景を見させてくれました。白鳥が、なかまの羽がないのに気づいたのか、今きた道を引き返しました。しばらくするとなまを見つけたのか、二羽で鳴きながら瓢湖に向かつて飛んでいきました。私は見えなくなるまで見送っていました。白鳥の愛情、友情にとっても感動させられました。」

### 新年度の主な事業紹介

詳細については、随時公民館報などでお知らせいたします。今年も多くの皆さんの参加をお待ちしています。

小須戸健康ウォーク	小須戸の町屋方面や山の手旧三國街道を中心に各ポイントを複数設けて完歩する。また、正しいウォーキングを指導してもらう。
冬でも元気！ホールで遊ぼう！	公民館やふれあい会館のホールを利用し、冬場の運動不足解消を図る。(卓球やニュースポーツ、けん玉などを楽しむ)
自然観察会	身近な地域の植物や野鳥などの観察会を行う。春・秋に各2回実施。
「フ子書道」やってみませんか？	冠婚葬祭(祝儀袋、香典袋など)の基本的な筆字の書き方を学ぶ。
小須戸の歴史入門	小須戸町史をもとに専門家から旧小須戸町が繁栄していた頃(川湊、小須戸編等)の当時の様子をわかりやすく解説して頂く。
にいがたボク1スリッパ卓球大会	スポーツを通して県内の参加者と親睦を図る。(スポーツ振興会や小須戸、山の手コミ協と連携事業)
祖父母と孫の学級	祖父母と孫とで共通の活動による双方発見。
親子チャレンジ教室	親子で工作や料理作りなどを一緒に体験することで、親子で絆を深めながら、異年齢の子どもや親同士の親睦を図る。
ふれあい出前スクール	放課後、小須戸小学校、矢代田小学校でコミ協及び各小学校の教育コーディネーターと連携した事業。
新津南高校学校開放講座	現役の高校教諭から学ぶ一般教養や実技講習。(同校と連携)
ときめき・オンステージ	生演奏を聴いたり、パフォーマンスを鑑賞する機会を提供する。
小須戸地区市民展	地域住民による作品発表の場。(小須戸文化協会と共催)
小須戸地区芸能祭	地域住民による芸能発表の場。(小須戸文化協会と共催)
小須戸地区囲碁・将棋大会	市民参加による囲碁・将棋大会。(小須戸囲碁・将棋愛好会と連携)
初心者料理教室	料理をしたことのない方を対象とした実践家庭料理講習。

### 水道栓をこまめに調節しましょう

「水の垂れ流しは石油の垂れ流し」安全な水を自由に使えることは、どんなに幸福なことか。その水は取水・浄水・排水等の電力即ち石油等の資源により浄化されたものです。わたしたちの一日の水道水使用量は、三六八リットル。牛乳びん(一、八四〇本。年間で六七一、六〇〇本。(新潟市水道局「にいがた水道」参照))

### 「公民館」と「公民館報」っていつできたの？

公民館という呼び名で言われるようになったのは昭和二十一年頃で、すでに旧小須戸町では、国と県が指導する「公民館設置条件」にほとんど一致した「文化協会」が設立されており、当時県下でも注目され各地から視察に訪れていたということがあります。

これを受けて昭和二十三年九月の町議会で議決され、「小須戸町中央公民館」は、正式に発足したのです。そして、翌二十四年十一月に第一号の「公民館報(こすど)」が発行され、以後半世紀の長きにわたり県下でも有数の館報として皆様に親しまれてきたのです。

初代館長は町長の村山吉五郎氏、副館長は議長の海津良助氏と中学校長の佐山武雄氏でした。

公民館は最初、中学校内に置かれていましたが、昭和二十六年には今の商工会の場所にあった「町織物業組合」を改装し設置され、以後軒々と場所を変えて昭和五十年現在の地に建設されました。

このように多大な功績を残した、先人の社会教育に対する情熱に心から敬意を表するものであります。



現在の公民館の前身「小須戸町公民館」

### 参加者募集!! 春の里山登山のお誘い

早春の里山を歩いて見ませんか。大沢公園から出発して護摩堂山へ山頂までは1時間20分位です。

日時 5月5日(日)  
集合場所 天ヶ沢の大沢公園へ AM 9:00に集合  
持ち物 水・タオル \*お昼で解散します。  
申込み 申し込みは不要。

主催 里山登山の会  
問い合わせ 高山まで TEL 38-4681

小雨 決行

### 「こすど地区公民館報」話題・情報提供のお願い

館報編集委員会では読みやすく、より皆様に親しまれる広報作りを心掛けています。地域の明るい話題、耳寄り情報やイラスト、写真など何でも気軽に下記へお寄せください。

◆提供先 館報編集委員会 事務局  
(小須戸地区公民館内)  
新潟市秋葉区小須戸117  
TEL 38-2234

# 勝ほどに、笑われず。 にいがたボケースリッパ卓球大会

新潟市スポーツ推進委員 小須戸地区スポーツ振興会 事務局 小見 健雄

新潟市秋葉区小須戸地区は、旧小須戸町をエリアとし、農業や園芸が盛んな田園の在郷町です。この地域は、古くから絵画、俳諧などの文化活動、剣道、柔道などのスポーツ活動が盛んな土地柄でした。現在も、小須戸地区公民館は地域の人のための生涯学習、生涯スポーツの中心の活動の中で、山形県の河北町(スリッパの生産量日本一)発祥の「スリッパ卓球」に取り組み寄せて、当地の名産品であり、日本一の生産量を誇る園芸花木「ボケ」(木瓜、迎春花)の名前にちなみ、更に卓球をすることでボケないことを願い、「にいがたボケ13スリッパ卓球大会」と名付け、今年で四年目となりました。新潟市スポーツ推進委員としては今回から「小須戸地

マジシャンの手ほどきで 見事な新聞紙のツリーが完成



小須戸出身者同士による初共演コンサート



## 写真で紹介!! 3月に行われた「ときめき・オンステージ」



新津南高校生による「少林拳法法のデモンストレーション」



フラメンコの華やかな舞台に、会場の熱気も上がる

大会の競技種目はシングル、ミックスタブルス戦等の卓球大会ではどこでもありますが、オープンングイベントとして「子ラリー」(打ち合いの回数ではなく、いかに長い時間打ち合いを続けられるかを競う)を初め、コスプレによる競技参加(パフ・オブ・マンス賞も有)スリッパ卓球世界チャンピオンを迎えてのチャレンジマツ



「区スポーツ振興会」の共催事業として参加をさせて頂きました。

チ等競技スポーツとしてではなく、誰でもできる生涯スポーツとしての役割を十二分に果たしています。大会の参加者は、若者男女、市内、市外より一〇五名のご参加をいただき、まだまだ寒い外の空気を熱くするほどの熱気と笑いで体育館を温め、大成功に終わりました。 とかく勝たなくてはならない、強くななくてはならないのではなく、この大会ではトーナメントで早く負けてしまった人達に対しては、ガラポン抽選機で景品を差し上げています。弱者にも愛を、強いのまだけが得をするのではなく、奇抜な衣装での参加者にも「笑い」という賞賛をさしあげ、体を動かすことで汗をかき、笑うことで脳の活性化に繋がります。スリッパ卓球はこれからの少年、高齢化社会のスポーツの担い手として当振興会としても地区公民館、コミュニティ協議会等との連携で、地域の人々が集い、楽しめる地域のニュースポーツとして更なる普及活動をしたいと思っています。

## 参加者募集 少林拳法教室のご案内

体力にに応じて 楽しみながらできる

少林拳法は一九四七年に宗道臣先生によって日本でつくられたものです。突きや蹴りだけでなく、相手につかまれた時に反撃する技などが全部で六百数十種類あります。その人の体力に応じて、飽きることなく楽しみながら技を身につけられます。楽しくやりました、仲間作りをしたい、体力をつけたい、護身術を身につけたい等々、どんな目的でもかまいません。自分のペースでやれます。練習だけでなくパーベキュー等のレクリエーションもたくさんやる予定です。 対象 小学生以上(それ以外は相談に応じます)

平成25年度「公民館ロビー展」《展示団体予定表》

4月	ちぎり絵展 (しゅんこう和紙ちぎり絵) ※現在、開催中	10月	水墨画展(墨川会)
5月	川柳展(川柳会)	11月	ワークセンターほほえみ展 (ワークセンターほほえみ)
6月	絵手紙展(絵手紙を楽しむ会)	12月	切り絵展 (花と線と切り絵)
7月	写真展(写真クラブ)	1月	俳句・川柳展 (俳句同好会・川柳会)
8月	折紙展(折紙サークル)	2月	陶芸展(押味会)
9月	書道展(創風会)	3月	パソコンアート展 (活き生きパソコン)

今年度も小須戸地区公民館一階のロビーで「ロビー展」を開催します。(左記のとおり) 主催 小須戸文化協会 小須戸地区公民館 問合せ 381-2234

活動日時 毎週月曜日 (三階・ホール)

活動場所 小須戸地区公民館

参加費 午後七時・八時半 保険代八百円 他

問合せ・指導 夏川伸也 2025-13721 2236 (白根高校 体育科直通)

日ごろの練習の様子

## 公民館の職員が交代しました

この度、四月一日をもちまして南区区民生活課から小須戸地区公民館に勤務をさせて頂いたことになりました。 不慣れで、至らない点があるとは思いますが、精一杯努めさせていただきます。 ご指導、ご鞭撻よろしくお願いたします。

公民館臨時職員 八木 千枝

公民館臨時職員 須藤 玲子

地域の皆様のお役に立てるよう精一杯頑張りますので宜しくお願いたします。

地元の小須戸地区公民館で仕事ができることを、うれしく思っています。 より多くの皆さんに気持ちよく利用していただけるように努めたいと思います。

## 新しいこと(等)始めませんか?

お箏を通じて交流の輪を広げませんか? いつからでも、始められます。 大人から子供まで、親子でも、誰でも気軽に楽しめます。 未経験・初心者の方も大歓迎!

日時 第1土曜日 午前10:00~12:00 第3土曜日 午後1:00~3:00

会場 小須戸地区公民館 [2階・和室]

講師 佐藤雅楽斐

参加費 受講料は無料。楽器も無料で貸しします。ただし、必要に応じて少額実費負担の場合があります。

お問い合わせ先 090-5307-4689 (小嶋)

## お世話になりました

前公民館長 東條 秀樹

文化協会の皆さんや利用

二年間、お世話になりました。小須戸の様々な年代の人たちと交流できてよかったです。 湯東地区公民館 太子 角恵

者の方から多大なる協力とご理解をいただき誠にありがとうございました。とても充実し楽しい二年間でした。本当にありがとうございました。 皆様もお元気で、益々のご活躍を期待いたしております。

白根地区公民館 野崎 義和

十九年間の長きに渡り、勤めさせていただきました。「野崎さんって、幸せだね」と、よく複数の方から言われてきて、「エッ、どこが?」と思っていました。しかし、小須戸地区公民館を離れるにあたり、その意味が少しずつわかってきました。 最後に、温かい大勢の方々を支えられて、今日までこられたことに、笑顔で感謝を申し上げます。

## 文芸欄

本の名は柳芽を吹く「信濃川」 中野大浪

風呂吹きの大根うまし老二人 井本マツ子

寒南天こそとばかり紅くなり 栗 たく

万両の実落つる夜のしじまかな 佐久間久子

寿か八十路迎へし春を待つ 上田スミイ

退会の友よりとどく桜餅 吉澤文子

同期会笑顔で歌ふ春の宵 丸山紀子

無事祈る妻へ漁師は海に出る 増井ツル

帆に休み鳴お前も独り者 保科志枝

失敗を優しく包む母の海 会田 修

海明けへ血潮がたぎる権と櫻と 能登としお